

令和2年度 山梨県高等学校新入体育大会バスケットボール競技
第31回関東高等学校バスケットボール新人大会山梨県大会
【大会要項】

| | | | | |
|-------|--|--|---|--|
| 1 主 催 | 山梨県高等学校体育連盟・山梨県教育委員会・(一社)山梨県バスケットボール協会 | | | |
| 2 主 管 | 山梨県高等学校体育連盟バスケットボール専門部 | | | |
| 3 後 援 | (公財)山梨県スポーツ協会 | | | |
| 4 協 賛 | 株モルテン・株ミカサ | | | |
| 5 期 日 | 令和3年1月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日) | | | |
| 6 会 場 | 日本航空高等学校体育館 県立日川高等学校体育館 県立山梨高等学校体育館 市立甲府商業高等学校体育館 緑ヶ丘スポーツ公園体育館 | A・Bコート(男子) C・Dコート(男子) E・Fコート(女子) G・Hコート(女子) I・Jコート(男女) | 9日(土)、10日(日) 9日(土)、10日(日) 9日(土)、10日(日) 9日(土)、10日(日) 16日(土)、17日(日) | |

| 7 競技開始時刻 | 第1試合 | 第2試合 | 第3試合 | 第4試合 | 第5試合 |
|----------|------|-------|-------|-------|-------|
| | 9:00 | 11:00 | 13:00 | 15:00 | 17:00 |

8 参加資格

- (1) 2020年度山梨県高等学校体育連盟に加盟し、(公財)日本バスケットボール協会に加盟・登録が完了した高等学校単一チームであること。
- (2) 平成14年(2002年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回に限る。
- (3) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廄合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (5) 部員不足による合同チームの大会参加運営細目に該当し申請があった場合、合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校(転籍)後6か月末満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。
- (7) 参加資格の特例
- ①上の8-(2)に定める生徒以外で、当該要項の大会資格を満たすと判断され、山梨県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- ②上の8-(2)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- a. 学校教育法第124条、134条の学校に在籍し、山梨県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- b. 以下の条件を具備すること。
- ア. 大会参加を認める条件
- a) 山梨県高等学校体育連盟の目的及び永年の活動を理解し、それを尊重すること。
- b) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学年・修業年限とともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
- c) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していらず、運営が適切であること。
- イ. 大会参加に際し守るべき条件
- a) 山梨県高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
- b) 大会参加に際しては責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- c) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- (7) 参加制限【外国人留学生の出場枠について】
- ①学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。
- ②在籍校が、山梨県高等学校体育連盟に加盟していること。
- ③平成14年(2002年)4月2日以降に生まれた者とする。
- ④短期留学生は除く。
- ⑤人数は、エントリー(18名)の内2名を上限とし、コート内でプレーできる選手は1名とする。

9 引 率

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、コーチ又はアシスタントコーチを兼ね、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。ただ、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は山梨県高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) コーチ又はアシスタントコーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はJBA公認コーチ登録を完了し、傷害賠償責任保険(スポーツ安全保健等)に必ず加入することを条件とする。

1.0 参加人員

コーチ1名、アシスタントコーチ1名、学校関係者1名、マネージャー1名、選手18名、合計22名を上限とする。

1.1 競技規則

- (1) 「2019 バスケットボール競技規則」による。
- (2) 参加チームを4ブロックに分けトーナメント戦方式代表決定戦とし、各ブロックの代表の4チームによるリーグ戦方式優勝戦とする。
- (3) 5~8位のチームは、順位決定トーナメントを行う。
- (4) リーグ戦方式優勝戦における順位決定方法について、勝率同チームがある場合は次のとおりとする。
 - ① 2チームの場合は、相互の試合の勝ったチームを上位とする。
 - ② 3チームの場合は、3チーム間の得失点差により、値の高いチームを上位とする。
 - ③ 上記11-(4)①②で順位が決定できない場合は、リーグ戦全体のゴールアヴェレージにより、値の高いチームを上位とする。(ゴールアヴェレージは、得点を失点で割って算出する)

1.2 表彰

男女とも3位までを表彰する。

1.3 組合せ会議

令和2年11月26日(木) 15:00~ 石和スコレーセンター ※各チームの部顧問の抽選による。

1.4 競技上の注意事項について

- (1) ベンチは組合せ番号の小さいチームをコートからテーブルオフィシャル席に向かって右側とする。
- (2) ユニフォームは原則として、組合せ番号の小さいチームが、白色を着用する。
- (3) 第1・第2クォーターに攻撃するゴールは、相手チームのベンチ側とする。
- (4) 競技開始時刻は原則として定刻とする。ただし、前の試合が遅れたコートに10分間の練習時間を確保する。
大会2日目は第3試合目、大会4日目は第4・第5試合目の両コートの開始時刻を合わせる。
- (5) 自チームのメンバー表を、会場入りしたら速やかに大会本部と相手チームに提出する。
- (6) 壱権する場合は、必ず専門委員長と相手チームに連絡する。
(無断で壱権した場合は、相手チームの交通費全額を支払うこととする。)
- (7) 感染性の高いインフルエンザ等の疾患が発症した場合においては、各学校の校長の判断により出場の可否を決定し、速やかに専門委員長と相手チームに連絡する。
- (8) 試合の速やかな進行に心がける。

1.5 テーブルオフィシャル(以下TO)

(1) TOは大会ごとにTO部が定めた計画に従って行う。

(2) 原則としては次の通りに行う。

- ① 各コートの最初の試合は、大会初日については、その試合から2試合あとの両チームが分担して行う。但し、該当するチームがない場合は、最初の試合から1試合あとの両チームが分担して行う。大会2日目については、その試合から1試合あとの両チームが分担して行う。
- ② 各コートの2試合目以降は、前の試合の負けチームがそのコートの次の試合のTOを行う。

1.6 諸注意

- (1) JBAの新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインと専門部作成の申し合わせ事項を徹底する。
- (2) 無観客試合のため体育館に入館できるのは、上の10に定める参加人員、チーム部員(1,2年生)、大会役員、審判員とする。
- (3) 各会場ともに、上下履きの区別を徹底する。
- (4) 貴重品の管理は、各チームで行う。
- (5) 会場及び、会場校に迷惑がかからないように心がける。

※無観客試合である旨を、各チームでも保護者会や卒業生等への連絡をお願いします。

1.7 各会場の担当責任者

| 月日 | 会場名 | 記録・報道 | 競技 | 会場・コロナ感染対策 |
|--------|-----------|-----------|----------------------|--------------------|
| 1月 9日 | 日本航空(A B) | 齊藤拓巳(昭和) | 山貝健(富士学) | 三澤寛(航空)・小野凌(航空) |
| | 日 川(C D) | 武井祐樹(興譲館) | 浅川啓太(駿台) | 古田厚司(日川)・井上俊(身延) |
| | 山 梨(E F) | 永井宏和(笛吹) | 小沢俊輔(東海) | 中澤正明(山梨)・河西寛之(日川) |
| | 甲府商業(G H) | 佐藤朗(青洲) | 羽田雅音(富士学) | 村松優(都留)・古屋勝規(甲府商) |
| 1月 10日 | 日本航空(A B) | 齊藤拓巳(昭和) | 上村洋一(北杜) | 三澤寛(航空)・小野凌(航空) |
| | 日 川(C D) | 武井祐樹(興譲館) | 山本大輝(河口湖) | 古田厚司(日川)・井上俊(身延) |
| | 山 梨(E F) | 宮久保純子(日川) | 白倉一穂(北杜) | 中澤正明(山梨)・河西寛之(日川) |
| | 甲府商業(G H) | 佐藤朗(青洲) | 向山可南子(河口湖) | 村松優(都留)・古屋勝規(甲府商) |
| 1月 16日 | 緑ヶ丘(I J) | 齊藤拓巳(昭和) | 井上俊(身延) 山本大輝(河口湖) | 宮下敏治(笛吹)・古屋勝規(甲府商) |
| 1月 17日 | | 武井祐樹(興譲館) | 井上俊(身延) 山本大輝(河口湖) | 宮下敏治(笛吹)・古屋勝規(甲府商) |

連絡責任者 専門委員長

勤務先(笛吹高校)

宮下 敏治

055-262-2135

携帯電話

090-3510-5098